

# インクルーシブの窓

令和7年7月 富山県教育委員会 教育みらい室 特別支援教育課



## 吃音のこと、ご存知ですか？



数年前、県外の学校の生徒が吃音を理由に同級生や教諭からもいじめを受けていたことが報道で明らかになりました。いじめはもちろん、止めるべき立場にある教諭の言動は決して許容されるべきものではありません。

吃音については、『障害のある子供の教育支援の手引』（文部科学省、2022年）の237ページには次のように書かれています。

**吃音とは、自分で話したい内容が明確にあるにもかかわらず、また構音器官のまひ等がないにもかかわらず、話そうとするとときに、同じ音の繰り返しや、引き伸ばし、声が出ないなど、いわゆる流暢さに欠ける話し方をする状態を指す。現在のところ、原因は不明である。**

**吃音のある子供は、話すときに、身体全体を硬直させたり、身体の一部を動かすなどの随伴症状を呈したり、自分の話し方を恥じ、それを隠そうとしたり、回避しようとして他者と話そうとしなくなり、結果的にひきこもってしまったりするなど、吃音が情緒的発達や社会性の発達に大きな影響を与えることがある。**

NPO 法人全国言友会連絡協議会により、吃音のある子供の理解と支援のための、以下のようなリーフレットが制作されています。ダウンロードのみ無料です。ここでは、内容の一部を抜粋して紹介します。

ダウンロードはこちらから！ 



### 『吃音のある子どもがクラスにいたら』小学校の先生方へ

- ・からかいやいじめは絶対に許してはいけません。
- ・周りの子どもに吃音を知ってもらうことで、自分の話し方で自由に話しても良いという安心感が得られます。ただし、周知するかを本人とよく相談してください。

### 『先生たちに知ってほしい吃音のこと』中学校・高校の先生方へ

- ・話し方より話の内容に注目しましょう。話し言葉に限らず、本人の伝えやすい方法と一緒に話し合うことも助けになります。
- ・吃音のある生徒の悩みの背景を想像してみましょう。

これからも、学級の全ての子供たちが安心して学べる学級、授業づくりを目指しましょう。